



## 【長野俊英高校】 第 3 回学校見学会について

1. 日程 12月19日(土)
 

受付	9:00～
体験・ガイダンス	9:30～
個別相談	10:20～ (希望者)
  2. その他 教室配布の長野俊英高校専用の申し込み書に必要事項を記入して提出をしてください。  
締め切りは、12月14日(月)
- \* 推薦・併願も含め俊英高校を受験する可能性のある人は必ず学校見学会に参加し、個別相談を受けてください。最終の個別相談は2月にありますが、できるだけ今回参加するようにしてください。

## 【松本国際高校】 第 2 回保護者・生徒対象学校説明会について

1. 日程 12月19日(土)
 

受付	9:30～ 9:55
説明会	10:00～
①学科説明	普通科 (IB・特別進学・文理特進・スポーツ特進・総合進学) マンガ・イラスト科 環境福祉科
②アドバンス A・B 入試・推薦入試 (学校長・自己)・一般入試・特別選抜入試について	
③その他	
個別相談 (具体的な相談)	
2. その他 体験入学等申込書を持っていく。  
締め切りは、12月15日(火)

## 進路の書類準備 その3 「志願理由書」

～後期入試1本で頑張る人も、いずれ、大学入試や就職活動等で役に立ちます。  
一読しておきましょう～

### 1. 最も大切な事

「前期入試」は「自己推薦入試」です。自分を自分で推薦して、それを高校に評価してもらう入試です。後期入試と違ってこれまでたくさんの方が涙をのみました。高校は高校の基準に達していなければ、定員を割っても不合格にします。その学校に合っていなければ合格しないということですね。では、その学校に合っているということはどういうことでしょうか？  
次のことが志願理由書に書け、面接でアピールできるか考えてみましょう。

- ①「私はこの学校にこういう理由で入学したいのです。」という志願の理由が明確である。
- ②「私はこういう素晴らしい特徴があります。」という自分をアピールできる事柄がある。
- ③「私はこういう夢を持っています。その夢の実現のためにはこの高校に入学し、このような活動を行っていきたいです。」と自分の進路について考えをしっかりと持っている。
- ④「私は3年間こんな中学生として頑張ってきた。」と中学校で頑張ってきたことに自信を持っている。

前期入試に費やす「時間」「努力」「精神的な負担」は、大きなエネルギーを必要とします。後期入試に悪影響を与える場合もあります。前期入試が自分に合っているかを考えることも自己理解の一つです。

## 2. 志願理由書の書き方ポイント

- ① 高校から提示されている書き方の例を参考にする。志願理由書に書いてある注意書きを熟読して、高校の指定の通りに書く。
- ② 文字は丁寧に楷書で書く。この文章を読んで高校の先生がよい印象を持つように丁寧に書く。誤字脱字がないように書いたら読み返す。何度でも直す。
- ③ 修正液は使わない。HBや2Bの濃い鉛筆(シャープペン)で書き、清書はコピーする。保護者の印はコピーしたものに押す。(印のない学校もあります)
- ④ 「具体的な事例」が大切。修飾語で強調(たいへん、とても、素晴らしい等々)するのではなく、自分にしか書けない事柄を書く。

〈イマイチの例〉部活動を3年間頑張ってきました。この経験を通して継続することの大切さを知りました。(誰でも書きそうな文章で印象に残らない)

〈オススメの例〉私は、毎日他の人より早く体育館に行って、ネットを張りました。道具の準備をすることの大切さを顧問の先生に教えていただいたからです。そして他の人よりたくさん練習をしました。そういう努力が認められ、レギュラーになりました。努力は裏切らないことを学んだ部活動でした。高校入学後もこの気持ちを持ち続け、努力していきたいと思います。

## 3. 志願書を書く手順

- ① 高校の募集観点を熟読し「高校はどんな生徒を前期入試で募集しているのか」を理解する。

### (例)上田千曲高校

#### 募集の観点〈全科共通〉

基礎的な学力と基本的な生活習慣が備わっており、各専門科の募集の観点を十分に理解し、次のいずれかに該当するもの。

- ① 入学後も意欲的に学習をする意思があり、資格取得を含めた学習の成果により進路実現を希望する者
- ② 部活動・生徒会活動に積極的に取り組み優良な活動実績をもち、入学後も継続して活動する意欲のある者(意欲的に活動する強い意志を持っている者)

#### 〈建築〉

「建築」に興味と関心があり、将来は建築関係の進路を希望する者

例文 「私の父は建築関係の仕事に従事しています。何回か父の仕事場を見学する機会がありました。そこで見た父の仕事の様子は私の心を打つものでした。何度か父の仕事場を見学することで、私は建築関係に仕事に就きたいと思うようになりました。それからは、特に技術と美術の授業に力を入れて取り組むようにしました。」

- ② 自分のアピールポイントを明確にする。
  - ・「基本的な生活習慣」が身につけていることは当たり前。人一倍清掃に熱心であるとか、ゴミ拾い登校は欠かさずに協力したなど。
  - ・部活動は3年間続けるのは当たり前。自分は何をしたのか、何を学んだのかが大切。
- ③ 自分の進路に明確な考えを書く  
何となく「総合学科」が楽しそうだから志願しました。ではダメでしょう。将来は「通訳」になりたい。そのためには「中国語」が選択教科にある総合学科を選びました。というように高校の授業内容も調べておくと良い。

懇談会で前期選抜を受験する意思が固まった人から、下書きスケジュール表が渡されています。進路室前にも掲示されています。自分で確認し、どんどん進めていきましょう。